



津南町にお住まいの皆様へ

【差出人】〒949-8201 津南町大字下船渡己2895 はる会(桑原はるか後援会)事務所

No.01

ツナンタイムス

発行:2020年8月

TSUNAN TIMES

桑原はるか町政報告 |

Publicity paper of Haruka Kuwabara,
Mayor of Tsunan

「ツナンタイムス」は、津南町長桑原はるかのこれまでの取り組みと今後の展望を町民の皆さまにお伝えするための町政報告紙です。



津南を一步進んだ農業の町に! 強みを活かしたまちづくり

津南の強みはやはり農業です。農地基盤が整っていて、米あり、野菜あり、花卉あり、畜産ありのバランスの良い農業構造は、県内随一です。一步先んじた施策を打つことと、担い手育成に力を入れることで、津南は農業で日本のトップランナーを目指せると確信しております。法人の設立支援やスマート農業の普及に着手し、後継者不足への不安を少しでも解消し、いろんな人が農業に関わり、次世代にも続いていけるように種まきしています。2022年秋には、県内初の米の食味コンクールの招致が決定しています。

子ども達は未来を担う、私たちの宝! 力を引き出す最良の教育・保育環境を

保育士からは数年前から、保育環境に関する声があがっており、「子ども達が遊びこみ学び合う保育」や「安全で衛生的な施設」について何度も会議を重ねてきました。私も現場を見て、地域の5園舎とも未満児スペース、感染症対策、トイレなどそれぞれ課題を抱え、現場の工夫では限界だと知りました。課題を解決しながら、町の将来を左右する少子化対策のために、ひまわり保育園を増築し子育ての拠点をつくり、拠点から各地域に出かけ交流して「町全体が保育園、園庭!」という津南だからできる保育を考えております。懇切丁寧に説明してまいります。



町民の期待やニーズに合わせて 動ける町役場へ

今年4月から町役場の体制を変えました。1つは、農家と一緒に、津南農業の明日を考え、行動する農林振興課です。もう1つは、商工業や地域づくりに携わる町民とよくコミュニケーションを取り、さまざまな企画を実現する観光地域づくり課です。「ユリ農家×女将」の異業種連携は、津南の新たな可能性を感じました。町民の皆さんの話を親身に、きめ細やかに聞いて、コロナ禍を乗り越えるための支えになりたいと考えています。

津南のギモン

Question
and
Answer普段寄せられている津南町への
ギモンにお答えします。新型コロナウイルス感染症が
広がっているけど、津南町の対応は？

一人一人が「うつらない、うつさない」を心がけ、手洗い・うがい・マスク、人との距離をとる、3密を避けるなど、基本的な感染症予防をお願いします。十日町保健所管内では、医師会のご協力により積極的な検査を行っています。感染者が確認された場合は、保健所と連携し感染の範囲を最小限に抑える策、電話相談窓口の設置、公共施設の閉鎖検討など、初期対応をただちに行う準備ができていますので、皆さまからも冷静な行動をお願いします。（8月19日時点で、町内で感染の報告はありません。）

これから津南町の人口はどうなるの？

現状で推移した場合、10年後の2030年の人口は7,772人（75歳以上が31%）になると予測されています（人口問題研究所）。町の存続のために、内と外の両面で人口対策を進めていきます。内では、出生数に着目し、子どもを産み育てやすい環境づくり。外では、移住定住の推進体制を強化していきます。町民の皆さまには悲観することなく、前向きな町政をつくってまいりましょう！

高齢者の活躍の場は？

昨今は、65歳で高齢者と言うのは、ピンと来ないのではないかと思います。65歳や70歳ですと働き盛りのかたが多く、働く場も市場のなかで増えてきています。多様な働き方への施策を練っていきます。地域づくりにおいては、地区振興協議会をはじめ、普請や近所での見守り活動など、町行政では担いきれない部分を、地域のベテランの皆さまから担い手となっていただいています。今後もお力添えをお願いいたします。

町長からヒトコト 町政を担い2年

河川水害やコロナ禍で、町民の生命や財産を守りきることに改めて責任を感じています。津南の強みやセールスポイントをもっと際立たせることが重要と考えております。さまざまな課題に対して、誠心誠意説明を尽くし、激動期を津南がしっかりと乗り越え、光るために、私も命をかけて取り組ませていただきます。一層のご理解を賜りますよう、お願い申し上げます。

